

第二外国語履修案内

履修の手引き……P. 2

ドイツ語……P. 3～P. 5

フランス語……P. 6～P. 8

中国語……P. 9～P. 10

中央大学 理工学部



第二外国語履修の手引き

科目名について

外国語教育科目 2 群（第二外国語）の科目名は以下のようになります。

	1 年次				2 年次			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	AI	AII	BI	BII	AIII	AIV	BIII	BIV
ドイツ語	初級講読・ 会話		初級文法		中級講読			
フランス語								
中国語								

それぞれの科目について

・1 年次（必修科目／選択必修科目／選択科目※）

※学科によって違うので、必ず履修要項をしっかりと確認してください。

1年次は、学科ごとに指定されたクラスで学びます。「AI」と「AII」、および「BI」と「BII」は、それぞれ独立した科目ですが、内容的には連続しているため、前期後期1年間通して履修してください。

「AI」、「AII」の授業では、初級講読・会話を行います。「BI」・「BII」で学んだ文法の知識も使いながら、リーディング、スピーキングなど、第二外国語の応用的な力を高めていきます。

「BI、BII」の授業では、文法を初歩から学びます。

・2 年次（選択科目）※応用化学科は自由科目

2 年次は、「AIII」、「AIV」、「BIII」、「BIV」のクラスが開講されます。（※「BIII」、「BIV」は開講されない学科もあります）いずれも中級講読の授業です。1年次に学んだ知識を発展させ、中級レベルの力を身に付けていきましょう。履修するためには、「AI」、「AII」、「BI」、「BII」の授業を履修していなければなりません。

留学について

この他、全学共通のドイツ語圏・フランス語圏への夏季短期留学プログラム（4単位）も実施されています。ドイツ語圏については後楽園キャンパスでも準備講座を受講することができます。

また、ドイツ語圏・フランス語圏・中国語圏への交換留学も可能です。検定試験なども活用して勉強を進め、ぜひ挑戦してみましょう。

ドイツ語

さあ、ドイツ語をやってみよう！

大学に入って学び始める科目の多くは、既に何らかの形で高校までに学んでいるものです。しかし、大部分の学生にとって初めて接する科目があります。それは何といても英語以外の外国語です。理工学部には第2外国語としてドイツ語・フランス語・中国語が開講されています。これまでに学んだことのない科目に挑戦することは楽しいことであり、いやがうえにも知的好奇心が喚起されるものです。大学生になった今、未知なる世界の門をたたき、ドイツ語という新たな言葉を学んで、大いなる知を我が物とする出会いと発見の旅に出かけてみようではありませんか。



ブランデンブルク門

ドイツはおなじみの国

ドイツ語は、英語と一緒にゲルマン語に属する言語です。文法や単語に多くの共通点が見られ、英語の知識のある人には非常に学びやすい言葉です。ドイツ語を学べば英語も上達します。お互いの学習が相乗効果をもたらし、飛躍的に伸びること請け合いです。ドイツ語を学びながら、英語と比較していくと、「ああ、英語のあの文法はそういうことだったのか！」と理解が深まり、納得することも多いでしょう。

ところで、ドイツあるいはドイツ語と聞いて皆さんには何が思い浮かびますか？ サッカーや高級車ばかりではないでしょう。ザイル、ハーケン、ザック、シュラフ、シュプール、ゲレンデなどの登山やスキー用語はドイツ語です。哲学や文学や思想の分野では、ニーチェ、マルクス、グリム兄弟やミハエル・エンデなどがいます。グリム童話といえば、「白雪姫」「シンデレラ」「ヘンゼルとグレーテル」「ブレーメンの音楽隊」などがありますね。文豪ゲーテの「ファウスト」には27種類もの日本語訳があってわが国ではなじみ深い作品です。音楽ではバッハやベートーヴェンなど枚挙にいとまがありません。こうしてみると皆さんはいつの間にかさまざまな分野でドイツやドイツ語がすでに身近であることに気付かれることでしょう。

ドイツ語はどこで話されているか？

ドイツ語のみが単独で公用語の国は、ドイツ連邦共和国、オーストリア共和国、リヒテンシュタイン公国の3カ国です。次に他の言語と併用ながら、スイス、ベルギー、ルクセンブルクが公用語としてドイツ語を使用しています。そのほか北イタリアの南チロル地方、フランスのアルザス地方、デンマークの南部、ポーランド、チェコ、ハンガリーなど東ヨーロッパの一带でもドイツ語が使われています。これらの地域では英語よりもドイツ語のほうが通じることも珍しくありません。ドイツ語を使用する人は、世界でおよそ1億1千万人、世界第9位、ヨーロッパ地域ではロシア語についで第2位なのです。



ノイシュヴァンシュタイン

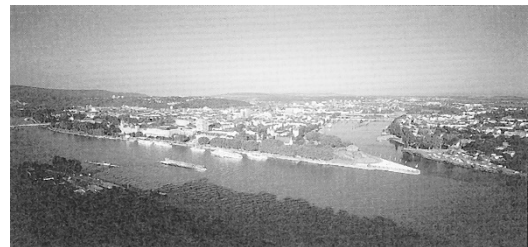
ドイツ語圏から何が学べるか？

19世紀から20世紀にかけて、自然科学の分野におけるドイツ語圏の人々の活躍は目覚ましいものがありました。理工学部で学ぶ皆さんは、ヘルムホルツ（エネルギー保存の法則）、リービヒ（有機化学）、レントゲン（X線）、メンデル（遺伝学）、そして、もちろんアインシュタイン、マックス・プランク、ハイゼンベルクなどの名前は知っているでしょうし、その他多くのドイツ語圏の研究者たちの成果をふまえて、今日の高度に発達したテクノロジーがあることは周知の通りです。

EU（欧州連合）は2021年2月時点で27カ国が加盟、その人口は4億5千万人という巨大経済圏になっています。欧州の単一通貨であるユーロ（Euro、ドイツ語ではオイロ）は、2007年以降スロヴェニア、キプロス、マルタ、スロヴァキアが導入し、2015年のリトアニアを含めると19カ国がユーロ圏になっています。またEUは「欧州会議においてどの国民も自国の言語で質問し、自国の言語で回答を得ることが出来る」という、それぞれの国の公用語が平等に扱われる多言語主義により運営されています。英語だけ出来ればよい、という考え方は欧州では通用しません。

しばらくの間順調に見えたEUですが、近年翳りが見えます。ひとつはギリシャなど国内経済が不調でEU加盟国の資格を満たすことのできない国々が顕在化していること。もう一つはイギリスが脱退するなど（Brexit）加盟国内部の右派政党の台頭による自国優先の動きです。その原因の最たるものは中東の政情不安による難民です。ドイツにはシリア難民が数十万人押し寄せています。ユダヤ人迫害という暗い過去をもつドイツは、積極的に難民を受入れているけれども、そのためにメルケル首相は窮地に立たされています。

日本と比較するといろいろな点で相違が見られます。もちろん全てが優れているとは必ずしも言えませんが、私たちが見習うべきところはたくさんありそうです。なぜこのように違うのかを考えてみることから、「異文化」との本格的な取り組みが始まるのではないのでしょうか。



コブレンツのライン川とモーゼル川の合流点、
ドイチェス・エック

ドイツ語はむずかしい？

「こんにちは」をドイツ語ではGuten Tag（グーテン・ターク）と言います。「ありがとう」はDanke（ダンケ）、「どういたしまして」はBitte（ビッテ）です。あれ？ローマ字のようだな、と思いませんか？そうなのです。ドイツ語の発音は単語をローマ字式に読んでいけば、ほぼ正解なのです。また先にも述べたように、ドイツ語は英語と兄弟の言語ですから、指はFinger（フィンガー）、家はHaus（ハオス）というように、英語と似ているところがあるのです。

英語が苦手でも大丈夫

初習外国語（はじめて習う外国語）ですから、アルファベットのA（アー）、B（バー）、C（ツエー）から始まります。「わたしは学生です」とか「わたしはドイツ語を習う」などの初歩から、つまり1から学習しますから、これまでの経験は必要ありません。何といても、大学に入って初めから習う科目です。わくわくする気持ちを大事にして、しっかり学習すれば、かならずある程度はマスターできます。実際、かなりの履修者が1年目で独検（ドイツ語技能検定試験）4級に合格しますし、なかには3級に合格する人もいます。

楽しく、おいしく、学びましょう

毎年、暮れになると聞こえてくるのがベートーヴェンの「第9・合唱」です。ドイツ語の歌詞は16行くらいですが、少しやる気を出せば覚えられます。ドイツ・リートやドイツ・オペラの好きな人なら、ドイツ語の歌詞が分かるということがどれほど愉快的なことか、日本語訳ではどんなに味わいが薄れるか、お分かりになるでしょう。

忘れてならないのは、ドイツ・ワインやドイツ・ビールです。ワインの産地や等級、甘口・辛口の別、また日本とは比較にならないほど多種多様なビール（まあ、飲むのは20歳を過ぎてからですが）、さらに各地にあるチーズ、ハム、ソーセージ、パンやお菓子など、「食の文化」に関心を寄せてみるのもドイツ語を学ぶ楽しみとなるでしょう。

また最近では都内各地もで、ドイツ風のオクトーバーフェスト（ビール祭り）やヴァイナハツマルクト（クリスマスマーケット）が開催されることも増えてきました。ドイツの文化を身近に感じることもできる楽しい機会です。ぜひ足を運んでみましょう。

短期留学・交換留学のすすめ！

本学では、毎年8月にテュービンゲン大学でドイツ語研修を受けると4単位取得できる、という短期留学プログラムがあります。文系学部の学友とともにドイツに行き、諸外国の学生たちと机を並べて、ドイツ語を学ぶことができます。もちろん1年次でドイツ語を履修していることが条件です。

さらに半期ないし1年の交換留学制度もあります。独検3級合格、2級受験済みが出願の条件です。（詳しくは国際センターへ。）ドイツ語圏の大学は理工系の研究のレベルも高く、また比較的リーズナブルに留学することができます。ぜひ留学にも挑戦してみましょう。



テュービンゲンの家並み

フランス語

何か新しいこと始めよう。もちろん、フランス語！

大学生活の始まりは、新しい世界の始まりだ。交友関係をひろげるもよし、アルバイトに精を出すもよし、これまで我慢させられてきた遊び心を発散させるもよし、とにかく思いきって色々なことにコミットしてもらいたいね。

さて、肝心の勉強だが、これまた、今までの受験勉強や、教師からの一方的な教えを受身で聞くというスタイルは、ここできっぱりと捨ててしまったほうがいいだろう。これからは、きみ自身が選びとるきみ自身のための勉強が始まる。自分自身の興味と、感性と、必要性とを大切にして、自分自身の手で新しい1ページを開くことだ。

何の1ページを開くかって？そりゃあ、きみの新しい人生の1ページでもあるし、もちろん、フランス語の教科書の1ページでもある。どうしてフランス語の教科書を開くことが新しい人生を開くことにもなるのか、まあ、そのあたりのことを少し聞いてくれたまえ。

フランス語を学べば第3の眼ができる

諸君はこれまでに、英語という外国語を学んできた。それでどうかな、英米人と会ってかなりおしゃべりができるようになったのかな。あるいは、辞書をひきひきでも、時々『ニューヨーク・タイムズ』など読めるようになったらどうか。イエスと答えられる人は、そう多くはないよね。それにしても、何年間やってきたのか、きみは考えてみたことがあるだろうか。中高で6年、小学校あたりから始めている人はもう10年選手だ。これからもまだ大学で数年間の英語が課せられるけれど、それでもなかなか物にならないのは、身近な大人たちに尋ねてみれば、はっきりしてるだろう。どうしてこんなことになるのか。それは、目的もはっきりしないままに、だらだらと続けてきたからだ。

だが、これから始めるフランス語はちがう。1年間でおよその文法を学べば、(がんばり次第だけれど)簡単な会話も、辞書をひきながらの読書も可能になる。そしてどういうわけか、そのようにしてフランス語を身につけていくと、そこから英語を再習得するためのうまい方法だって分かってくるのだから、不思議だねえ。

ともあれ、そうしてフランス語を身につけながら、『パリ・マッチ』『レクスプレス』『ル・モンド』などという新聞・雑誌を読み、パリ発の娯楽・文化番組を見たり聞いたりしていると、いつの間にか、きみたちには第3の眼ができてくる。そして、日本語と英語という2つの眼を通したものと異なった世界が見えてくるにちがいない。

良くも悪くも、日本は、英語的な文化に左右されすぎている。きみたちの知っている音楽のヒットチャートだって、ほとんどがニューヨーク発か、かろうじてロンドン発かではないだろう。でも、世界は広い。パリから、ローマから、ウィーンから、北京からのメッセージを受けないのは、いかにももったいないんじゃないのかな。

やがて諸君が社会人となってからも、日米のマスコミ以外からやってくるニュースソースやアイデアは、やはり強力な武器となってくるにちがいない。ついでに仏語検定の資格もとっておけば、身近な就職などにも有利になること請けあいだ。



凱旋門

フランスの魅力

それに、なによりもフランス語を学ぶことの利点は、あの魅力的なフランスとかかわることにある。まず、料理の美味しさ豊かさは世界一。かろうじて続くものは中華かな、イタメシかな？ワインなどはどこの追随をもゆるさない。味覚の喜びは、愛の言葉を呼びよせることだろう。恋人とそぞろ歩くセーヌ河畔、エッフェル塔、凱旋門、シャンゼリゼ大通り。マロニエの木陰のカフェに腰をおろし、悲しいまでに晴れ上がった空をながめながら口にするコーヒー。



ポンピドゥーセンター

古来より華の都として知られてきたパリを主題にした文学・音楽・美術・映画は数知れず、ああ若者よ、本当に一度行ってごらん…、などと、まずは言ってもみたいところだが、なかにはこうした浮いた事柄がきれいな諸君もいるだろう。そうした向きには、かのデカルトから、デリダやドゥルーズまで連綿と続くフランス哲学をおすすめしてもいい。

ともあれ、わが理工学部のあるフランスの姿をお話ししなければならない。たとえば、いつもわが国の新幹線と競い合っているフランス国鉄の超特急TGV、世界最大のジェット旅客機エアバスA380、自動車シトロエン、ルノー、プジョー、そしてユーロトンネル、ノルマンディー橋などの技術について。あるいはまた、賛否はさておき、原子力や、宇宙開発（アリアヌス計画）や、地球物理学の最先端技術について。そういえば、深海にもぐる技術も大変なもので、クスターさんの業績はもとより、パチスカーフや、この間のタイタニック号調査の潜水艦もフランスのものだったが、きみたちは覚えていてくれるかな。

さらにパストゥール研究所、マリー・キュリー研究所、メートル法の原基だってパリにある。科学者たちにしても、パスカル、フェルマー、ダランベール、ビュフォン、ラヴォワジエ、ラプラス、フーリエ、キュヴィエ、ラマルク、ガロワ、ファブール、ポワソネ、ルベグ、ブルバキ、マンデルブロート（このフラクタル理論の大御所は、わが理工学部で講演してくれたこともある）…と、枚挙にいとまはない。それはそうと、きみはここに並んでいる名前のどれだけを聞いたことがあるだろうか。1人もないなら、ちよいと教養に欠けるから、フランス語をとって勉強した方がいいね。数人いれば、いい線いってるから、もう少しがんばるためにフランス語を始めよう。それ以上なら、もうすっかりフランス語を学ぶモチベーションがあるのだから、ぜひフランス語をとるといいだろう。

身近なフランス語

お菓子里「シュークリーム」というのがあるね。あれは何語だろうか。きみは英語だとも思っていたんじゃないか？でも、英語だとすると、どういう意味になる？シューが「靴」だとすれば、なんと「靴クリーム」になってしまう。つまり、これはフランス語なんだね。シューは「キャベツ」のことだ。そして正確に言えば「シュー・ア・ラ・クレーム」というもので、キャベツの形をしたクリーム菓子なんだ。お分かりかな。あるいはまた「ミルフィーユ」というお菓子は、「ミル＝千」「フィーユ＝葉」というわけで「千枚の葉」。パイ生地が薄皮をたくさん重ねたようになっているから、こう呼ばれるわけだね。こんな具合に、やはり食べ物にフランス語は多い。

大学にやって来るとき、きみたちは東京「メトロ」に乗るだろうし、出口の「キオスク」で何かを買つかもかもしれないが、これはどちらもフランス語由来だね。西武デパートでは「セゾン・カード」というクレジット・カードを使っているが、セゾンは「シーズン」のこと。ほかにも「日比谷シャンテ」や「多摩カリヨン館」のように、すこしハイセンスな感じを出そうとしてフランス語を使うみたいだ。だからこそ、服飾関係の言葉は「オートクチュール（高級デザイン服）」「プレタポルテ（既製服）」などとフランス語の独壇場だし、ブティック（あ、これもフランス語だ）や喫茶店にも「シャルム」「ラパン」「ミモザ」「ラ・メール」「メゾン・ブランシュ」など、たくさん使われている。

雑誌もどうだ。「ヴァンサンカン（26歳）」「エル（彼女）」、「アンアン」も「ノンノ」もフランスの擬音語だね。女性雑誌だけじゃない。求人雑誌の「とらばーゆ」だって、フランス語の「仕事」を表す「トラヴァイユ」からきている。

理工系ではどうだろう。メートル法の用語「ミリ」「センチ」「キロ」などはすべてフランス語だし、キュリー夫人にちなんだ放射性物質の単位「キュリー」や、最近、台風の気圧を表すようになった「ヘクト・パスカル」などもそうなんだね。



フランス語の第一歩

さあ、身のまわりのフランス語が見えてきたら、いよいよ思いきってこの世界に入ってしまうおう。次の3つの表現を身につけたら、もうきみはフランス人と最低限のコミュニケーションを行うことができる。

ボンジュール 今日は
メルスイ ありがとう
オルヴォワール さようなら

そして、もう一つ、とっておきの言葉をお教えしよう。

ジュテーム 愛してる

どの言葉もカタカナ読みでかまわない。英語のようなめんどろなアクセントはないし、やたらに口に力を入れる必要もない。どうだい簡単だろう。さあ、もう諸君には、新しい世界が少しばかり開きかけてきた。

いい旅を！「ボン・ヴォワイヤージュ！」



中国語

『後楽』の地で中国語を学ぶ

後楽と理想

新しく入学されたみなさん、あなたは何を目印にして最初に理工学部の所在地を見つけましたか。後楽園ですか。後楽園の名は東京周辺に住んでいる人たちはみな知っています。でもこの「後楽園」の由来とそれに関する故事を知っている人はあまり多くないのではないのでしょうか。後楽園と言えば先ず挙げなくてはならない人は朱舜水です。彼は中国の浙江省余姚に生まれ、名を之瑜といい、舜水というのはその号で、彼の郷里を流れる川の名から取ったものです。明の復興のため来日し、好学な徳川光圀の知るところとなり、その後、徳川光圀に請われて江戸に行き、儒学を講じ、学校としてのいまの湯島聖堂を創りました。光圀様と朱舜水との間結ばれた友情は、日本と中国両国の歴史にすばらしい一ページに残りました。

次に挙げなければならないのは中国北宋の大政治家、大詩人である範仲淹です。範仲淹の生涯に渡る政治活動および彼の詩作を全体的に見てみると一つの核心的思想が体现されているのが見て取れます。それはすなわち「天下を己の任となす」ということです。「先に天下の憂を憂い、後に天下の楽を楽しむ」範仲淹の名句と彼の崇高な思想は世の読書人から敬慕されています。

朱舜水もまさに同じような理想と文武両道を兼ね備えた儒学者です。彼は日本で2、3年間暮らし、日本のために水戸学を創設し、安積寛、今井弘濟など多くの高弟を育てました。徳川光圀が朱舜水にこの庭園の名前を付けるように依頼したとき、70余歳の朱舜水は万感胸に迫るものがあり、「後楽園」と命名したのです。「世の中の憂いは人よりも先に憂い、世の中の楽しいことは人よりも後に楽しむ」。これは「後楽」に秘められた中国の文人たちの理想とする考え方なのです。



言語と橋

たがいに離れた二つの地域を繋ぐことのできるのが橋です。橋は互いに通じていない二つの環境に暮らす人々の考え方やさまざまな情報を交換する役割を果すのです。それゆえ橋は素晴らしさと幸福を繋ぐきずなであるとずっと見なされてきました。

写真の石橋は朱舜水が後楽園と命名する前にこの庭園のために設計した石橋です。これは後に工匠たちがまねすることができないと言った円月橋と呼ばれる石橋です。園、水なければ霊ならず、水、橋なければ通ぜず。

朱舜水が設計した円月橋はこの庭園のために他にはない独特の風景を加えました。また彼の一生も日中両国の間に思想、文化の橋を架けるためのものでした。

日中の文化交流が凝縮しているこの地の歴史を知り、聖人の学問の偉大さを探り、先賢の不撓不屈の歩みに従い、この地で中国語を学ぶことは、きっとあなたに他とは違う収穫をもたらしてくれることでしょう。



中国語の特徴

中国語について漠然と以下のような印象を持っている人も多いでしょう。これらはいずれも、中国語の特徴といえるものです。

・音の高低が印象的である：日本語にも“ハシ（橋）”と“ハシ（箸）”のように音の高低による意味の区別はありますが、中国語の音の高低は声調（tone）と呼ばれ、専門的には日本語の音の高低とは異なる現象であるとされます。私たちが学ぶ標準の中国語には音の高低のパターンつまり声調が4通りありますが、方言ではさらに多くのパターンを持つものがあります。

・漢字のみで表記される：現在では“D N A”のようなアルファベット表記の語もありますが、原則的に漢字のみで表記されるということは中国語の大きな特徴です。日本語にはカタカナや外来語と呼ばれるものがありますが、中国語では外国の地名や音訳の外来語などにも漢字を用います。例えば、近年、日本では“カッコいい”という意味で英語の“cool”からきた“クール”という言葉が耳にすることがありますが、中国語でも同様に“カッコいい”という意味で“cool”の音訳語“酷”が使われています。なお、中国では、特定の方言のみで使われる、方言字とでもいうべき漢字もあります。地域限定の字があるという事実は、日本のひらがな、カタカナの常識から見ると実に新鮮です。

中国語を学ぶにあたって

中国語を学ぶにあたって心がけておくべきことを挙げるとしたら、まず、中国語は外国語であるという意識を常に持っておく、ということです。先に述べたように、中国語は漢字で表記される言語ですから、手にしたばかりのテキストをざっと眺めても、何となく意味が分かりそうな気がすることもあるかもしれませんが、また、日本語の漢字の知識は中国語の潜在的な知識であるということもあながち的外れではないでしょう。しかし、当然ながら中国語は外国語です。中国語を学ぶにあたっては、むしろ日本語の漢字の知識に頼らずこまめに辞書を引き、中国語の発音に耳と口を慣らす努力を継続することが上達のカギとなります。

中国語を学ぶことの意義

このごろは百貨店や家電量販店などでも中国語が聞こえるようになってきました。2008年の北京オリンピック、2010年の上海万博の盛り上がりは、記憶にあたらしいところです。そして2012年には日中国交回復40年を迎えました。中国は今後私たちにとってさらに身近な隣国となると思われます。その意味で、中国語を学ぶことは、貴重な財産を自分のものにするということと言えます。中国語の学習を続ければ、思った以上の収穫があることに気づく日がくるでしょう。中国語を選択しようとする皆さんは、それを将来の楽しみに学習していきましょう。